

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和3年1月21日(2021.1.21)

【公開番号】特開2019-102986(P2019-102986A)

【公開日】令和1年6月24日(2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-024

【出願番号】特願2017-232157(P2017-232157)

【国際特許分類】

H 04 N	5/232	(2006.01)
A 61 B	1/00	(2006.01)
A 61 B	1/045	(2006.01)
A 61 B	1/04	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)
H 04 N	5/235	(2006.01)
G 02 B	23/26	(2006.01)
G 02 B	23/24	(2006.01)
G 03 B	15/00	(2021.01)
G 02 B	7/36	(2021.01)
G 03 B	13/36	(2021.01)

【F I】

H 04 N	5/232	1 2 7
A 61 B	1/00	7 3 5
A 61 B	1/045	6 1 0
A 61 B	1/04	5 4 0
H 04 N	5/225	5 0 0
H 04 N	5/232	4 8 0
H 04 N	5/235	1 0 0
G 02 B	23/26	D
G 02 B	23/24	B
G 03 B	15/00	Q
G 02 B	7/36	
G 03 B	13/36	

【手続補正書】

【提出日】令和2年12月1日(2020.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

被検体内に挿入されて先端から当該被検体内の被写体像を取り込む内視鏡の接眼部に着脱自在に接続され、当該内視鏡にて取り込まれた被写体像を撮像する撮像装置と、

前記撮像装置にて撮像された撮像画像内の前記被写体像の大きさを判別する被写体像判別部と、

前記撮像画像内に前記被写体像判別部の判別結果に基づいて所定の面積の検波領域を設定する検波領域設定部と、

前記撮像画像内に設定された前記検波領域内の画像に基づいて、当該画像の評価値を算出するための検波処理を実行する検波処理部と備える

ことを特徴とする内視鏡システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

前記検波領域設定部は、

前記被写体像判別部の判別結果に基づいて、前記被写体像に対して前記検波領域の占める割合が同一となるように、当該検波領域の面積を変更する

ことを特徴とする請求項1～9のいずれか一つに記載の内視鏡システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上述した課題を解決し、目的を達成するために、本発明に係る内視鏡システムは、被検体内に挿入されて先端から当該被検体内の被写体像を取り込む内視鏡の接眼部に着脱自在に接続され、当該内視鏡にて取り込まれた被写体像を撮像する撮像装置と、前記撮像装置にて撮像された撮像画像内に前記被写体像の大きさを判別する被写体像判別部と、前記撮像画像内に前記被写体像判別部の判別結果に基づいて所定の面積の検波領域を設定する検波領域設定部と、前記撮像画像内に設定された前記検波領域内の画像に基づいて、当該画像の評価値を算出するための検波処理部と備えることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明に係る内視鏡システムでは、上記発明において、前記検波領域設定部は、前記被写体像判別部の判別結果に基づいて、前記被写体像に対して前記検波領域の占める割合が同一となるように、当該検波領域の面積を変更することを特徴とする。